

## 教授の公募（地震減災工学教育研究分野）

神戸大学工学研究科市民工学専攻 人間安全工学講座 地震減災工学教育研究分野

公募内容：市民工学専攻の人間安全工学講座では、人々が安全で安心して持続的に生存できる文明の礎を考究する。災害などの外生的リスクに対して安全な社会の創造に関する教育研究を行い、社会への研究発信と人材育成を行う。その中で「地震減災工学」分野は、地震工学分野における理論体系を基盤として、レジリエントな生活空間を構築するための学際的研究を推進し、安全・安心な都市・地域の創造を推進することを目指している。本分野が対象とする範囲には、ライフライン、抗土圧構造物、基礎工など、構造物や地盤の地震時挙動の解明が重要となる社会基盤施設に関する分野が含まれ、研究成果の社会実装のために、地震減災に携わる諸機関との連携を通じて、ハード・ソフト対策を高度化した地震減災工学の体系化を行うことが期待されている。教育面においては、卓越した専門的能力を持つ工学人材の育成、市民工学教育の充実と向上に貢献することが期待されている。なお採用された場合には、工学部市民工学科、工学研究科市民工学専攻が提供する関連専門科目および全学、自然科学系、工学系の共通科目の教育担当および学内の管理・運営の担当も行う。

勤務形態：常勤（任期なし）

募集：教授 1名

応募資格：

- （１）学位：博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有すること。
- （２）研究教育領域と求められる資質：
  - （ア）専門性：構造物の地震応答や地盤震動に関して優れた研究教育業績を有すること。
  - （イ）国際性：海外との人的ネットワークを有し、市民工学専攻の国際的活動に貢献できること。
  - （ウ）協調性：研究教育における見識、専門分野にとどまらない分野融合研究のための企画能力と協調性を有すること。
  - （エ）学際性：地震減災に関するハード・ソフト対策を高度化した次世代型の地震減災工学分野を構想、構築できること。
  - （オ）社会貢献：社会貢献に積極的に寄与できること。

募集期間：2023年2月28日必着

着任時期：2023年6月1日以降のできるだけ早い時期

応募書類：

- (1) 履歴書：学歴，職歴，研究活動歴，国内および国際学会活動歴，教育歴，社会活動歴，受賞歴，その他の特記事項（特許など）に分けて記載すること。
- (2) 研究業績リスト：「著書」，「査読付き論文（Web of Science に登録されている雑誌論文に※を付す）」，「解説・総説」，「国際会議などのプロシーディングス論文」，「大学・研究機関などの紀要・報告」，「国際会議などにおける招待講演」，「その他の学術講演など」に分けて記載すること。
- (3) 主要論文5編の別刷（コピー可）。
- (4) 過去5年間に研究代表者／分担者として獲得した競争的資金（科学研究費など）のリスト（研究代表者か分担者かを明記）。
- (5) 着任後の教育に関する抱負，研究に関する抱負（各A4用紙1枚程度）。
- (6) 応募者について意見が伺える方2名の氏名と連絡先（E-mailを含む）。

提出先：

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学工学研究科市民工学専攻

専攻長：織田澤 利守

電話／FAX：078-803-6067／6069（市民工学事務室）

e-mail：ota@opal.kobe-u.ac.jp

書留郵便とし，封筒の表に「市民工学専攻教授応募書類在中」と朱書きのこと。応募書類は原則として返却しません。

連絡先：同上

備考：書類選考の上，面接を行うことがある（選考結果は文書で通知します）。面接選考の際の交通費等は支給しません。

神戸大学は男女共同参画社会基本法の趣旨に則り，女性研究者の積極的な応募を歓迎し，業績および資格等に係る評価が同等である場合には，女性を優先的に採用します。